

郷土資料 あれこれ 76

【問合せ】
社会教育課 郷土史編さん係
☎773-2197

古新聞の整理中に「『浅淵』に新道路開削」という見出しに目が留まりました。

これは昭和35年（1960年）5月1日付「魚沼新報」の記事でした。記事の内容は、魚野川の銭淵を形作っている坂戸山尾根の山裾部分を開削して、坂戸と美佐島をつなぐ農業用道路を作るというものでした（写真1）。



写真1 道路開削の様子

この道路が完成すれば坂戸と美佐島二日町と通行でき六日町と

五十沢・城内方面の川東の地域をつなぐ道路となり、農業・生活面ばかりでなく観光道路としても期待されるもありました。

この区間が、当期待されたような道路として開通したのは、平成10年（1998年）9月に美佐島トンネルが完成し、現在の国道291号線が開通してからのことになりました。

美佐島トンネルの入口の壁面には、郷土資料あれこれ⑦でも紹介しました「大月トンネル」のように地域の自然や文化をモチーフにしたレリーフを見ることができま



写真2 美佐島トンネル
坂戸側入口レリーフ

御実城太鼓とは、戦国時代に越後最強ともいわれたという坂戸城上田衆の打ち鳴らした陣太鼓を今

に伝えたものです。「御実城」とは、上杉家の呼びならわしで「本城」のことをいい、上杉謙信を御実城様と尊称していたといわれています。

現在の御実城太鼓は、昭和47年に六日町観光協会や商工会などの有志により、その再現と伝承、後継者育成、地元にならわしい郷土芸能をと、御実城太鼓保存会が創立されたことにはじまります。いまでも勇壮な演奏が、さまざまイベントで披露され、地域伝統として受け継がれています。

美佐島側の入口には、菖蒲と魚野川の清流を泳ぐ鮎のレリーフを見ることが出来ます（写真3）。



写真3 美佐島トンネル
美佐島側入口レリーフ

《参考資料》

「魚沼新報」、美佐島トンネル銘板、「御実城太鼓保存会創立20周年記念大会」パンフレット

心豊かな子育て教室

【問合せ】
社会教育課 生涯学習班
☎773-6610

平成30年度最後の教室、閉講式をお楽しみください。

初めての人、里帰りの人、上の子を連れた人、おじいちゃん・おばあちゃんも大歓迎です。

「心豊かな子育て教室」閉講式
日時 3月16日(土)
午前10時～11時30分
(受付：午前9時30分)

会場 市民会館多目的ホール

内容

「春をよぼう。リズムにのってダンス、ダンス！」

むいかまちこども園の年長児がダンス披露、スタッフによる出し物などを行います。
(ティータイムもあります)

対象 0～3歳の乳幼児とその保護者など

料金 1人10円（保険料）

申込み 不要。直接会場まで

※動きやすい服装でおこしください

